

◇————◇  
公益社団法人 日本航空機操縦士協会  
メールマガジン Vol.113/ 2023/2/15  
◇————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。  
今号は以下の内容でお送りいたします。

★————INDEX————★

- [1] 【三役コラム】 未来のパイロットを育てるために
- [2] 【三役コラム】 2022 年度の航空安全講習会の計画と実績、  
2023 年度の開催計画について
- [3] 【VOICES FEEDBACK】  
    <①Pushback 時の ATC 指示に注意><②スイッチオフで終わり？>
- [4] 【お知らせ】 隻眼のパイロット 前田伸二さんの番組
- [5] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内
- [6] 【お知らせ】 セミナー・イベント
- [7] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について
- [8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★————

- [1] 【三役コラム】 未来のパイロットを育てるために  
    副会長 畑辺 三千夫

★————

立春が過ぎ、春間近とは言え未だ寒い日が続いております。国内におけるコロナ禍も丸3年が過ぎ、社会生活上の各種制限は大きく緩和される方向に向けて動き出しました。

そうした中、2022 年度末を間近に控えた今、当協会では今年度の活動の振り返りを行うとともに、2023 年度の事業計画並びに予算の作成を行っております。

その中で、従来 of 活動はもとより、操縦士を組織する公益法人として今後さらに力を入れて取り組むべき課題は、未来を背負う若い世代や子供達に航空の魅力を伝え、航空界を目指す（中でもパイロ

ットを目指す) 人材を育てる活動を充実させることであろうと考え、中・高・大学生などを対象としたトークイベントや、FTD の体験搭乗を盛り込んだ航空教室などのイベントをさらに活発化させる事を計画しております。

ご承知の通り、当協会の活動は、その殆どが会員の皆様からいただく会費によって支えられております。しかしながら、会員の高齢化と数の減少傾向が続いている為、協会活動の財政基盤の安定化を目的として、パイロット誌 (2023.Winter) でも紹介致しました通り、大変恐縮ながら終身会員制度の変更を提案させていただきました。併せて、来年度計画の中では寄付金制度の導入も計画しております。

会員の皆様からは会員メリットに関する苦言をいただくこともあります。そうした声に対しても引き続き真摯に取り組んでいきたいと考えております。その上で、未来の航空界を背負う人材 (分けずともパイロット候補者) を育てるべく、協会の活動を支える会員の皆様の御理解と御協力を引き続き宜しくお願い致します。



---

[2] 【三役コラム】 2022 年度の航空安全講習会の計画と実績、  
2023 年度の開催計画について

副会長 大澤 一郎



JAPA 副会長の大澤でございます。

今回は、例年皆様にご参加頂いている航空安全講習会の今年度実績と 2023 年度の開催計画等についてご報告させていただきます。

2022 年度の開催実績及び計画

実績・4月11日埼玉県比企郡川島町 (実開催)

・6月25日熊本県熊本市 (実開催)

・7月23日東京都港区 (実開催)

・11月19日大阪府大阪市中央区 (実開催)

沖縄県那覇市で計画していた安全講習会は中止になりました。

全4回の開催で140名を超える方が受講されていますが、今年度最後の講習会が、3月11日東京都港区新橋 (実開催) で計画されてい

ます。今年度最後の航空安全講習会ですので是非受講を検討下さい。

#### 2023 年度の開催計画（実開催+オンライン）

航空安全講習会については、オンラインでの受講を希望される方が多いことから来年度からオンラインでの受講が可能なように取組みます。会場が遠方であったり、移動に要する時間が確保できないなどの理由により受講機会がなかった方には朗報かと思えますので受講をご検討ください。

- ・ 4月16日埼玉県比企郡川島町（実開催決定）
- ・ 7月1日熊本県熊本市（実開催決定）
- ・ 7月又は8月東京都港区新橋（実開催+オンライン）
- ・ 3月東京都港区新橋（実開催+オンライン）
- ・ 開催日未定 大阪及び沖縄

当日のプログラム及び予約については、適宜 JAPA のホームページにてお知らせいたします。

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

また、オンライン開催への取組みと並行して、受講の皆さまには当日の教材をPDFデータ等で配布することも検討いたします。

上記のとおり、来年度よりオンラインと会場のハイブリッド方式で計画し実行を図りたいと考えております。会場にてご参加頂ける皆様とお会いできる事を関係者一同楽しみにしています。

★

#### [3] 【VOICES FEEDBACK】

<①Pushback 時の ATC 指示に注意><②スイッチオフで終わり？>

★

<①Pushback 時の ATC 指示に注意>

羽田空港 Spot XX からの Pushback。ATC に REQ した際に“Pushback Approved RW Y05”と通常の指示。チェックリスト実施後、地上担当者とやりとりをしている際に、PM の副操縦士より ATC から呼ばれている旨の報告があり、ATC からは“Standby Pushback, Hold Position.”の指示でした。「ありがとう、聞き逃していたらそのまま Pushback していたね」と感謝を述べるとともに、きちんと ATC をモニターできていな

かった点を反省していました。近隣の Spot に他社機が入ってくるのが見えたので、理由は分かりました。その後改めて ATC より“Pushback ル Approved RWY 05”の指示がありましたので Procedure、チェックリストおよび地上担当者との会話をしていたところ、再度副操縦士より ATC に呼ばれていると言われました。またしても“Standby Pushback, Hold Position”と指示されました。理由は分かりませんでした。どうやら ATC 側で OJT を実施している様子で、スーパーバイザーが Pushback の指示に対して Hold Position と訂正しているようでした。二度にわたり同じような指示に対して訂正をされることに違和感がありましたが、副操縦士からの適切なアドバイスがなければそのまま Pushback していた可能性がありました。どんな時でもきちんと ATC をモニターする重要性和、特に地上担当者とコミュニケーションしているタイミングで ATC から指示があると、聞き逃す可能性が高いことに注意が必要だと思いました。

★VOICES コメント

2度もクリアランスが変更になるのは稀なケースですが、副操縦士が警戒心を怠らず確実に ATC をモニターできていたことはよかったですね。

<②スイッチオフで終わり？>

飛行前日、当日のワークロード軽減のため、外部電源装置を接続してアピオニクスを立ち上げ、事前の機能点検等を行った。作業が完了しようとしたとき、「会議ですよ」と声を掛けられたので、「ちょうど終わりました」と返事をし、機体の電源を全て OFF としてから事務所に戻った。それから 1 時間ほど経って、別件で格納庫に行った同僚から「外部電源の電源が入って、繋がったままですけど大丈夫ですか？」と連絡があり、外部電源装置本体の電源スイッチの切り忘れ、電源コネクターの外し忘れ、外部電源装置の片付け忘れに気が付きハッとした。原因として、次の 3 点を考えた。

①翌日の飛行準備作業に没頭していたときに会議参加への声掛けによって、事務所に戻らなければ！という気持ちが機体作業から会議に切り替わったこと、②会議後は他の事務作業を行い、翌日の機体の事前準備のための作業は完了していると思ってしまったこと、③格納庫内での機体配置によって、機体乗降口と格納庫出入口の動線上に外部電源装置やその配線がなく、動線上からは外部電源装置が翼に隠れて見えなかったこと。

★VOICES コメント

エラーの発生する確率が高くなる要因として今回のような機体の点検作業

は終了しているが、片付けまでの作業が終了していない状態での「作業の中断」があります。中断するときには、次の作業を行う意識が働き、現作業への注意力が低下してしまいます。このような状況に接した場合、直ぐに対応しようとせず、「5分後に行きます」とか「しばらく待ってください」という返事をして少し時間の余裕を作り、現作業を区切りのよいところまで完了してその終了点を明確にしておくこと、または中断するのではなく完全に終了させることが大切です。



---

[4] 【お知らせ】 隻眼のパイロット 前田伸二さんの番組



JAPA のセミナー、イベントでもご講演頂いた、米国シアトル在住、前田伸二さんの半生が、昨年末の民放テレビ番組 「グッと地球便」で放映されました。

前田さんは、1998 年、大学入学 2 か月後に不慮の交通事故で右目の視力を失いながらも、パイロットになる夢をあきらめず、単身アメリカに渡り自家用、事業用パイロットの技能証明、教育証明を取得、現在はボーイング社でエンジニアとして機体設計、試験飛行にも携わる傍ら、地元の飛行訓練所で飛行教官も務められています。

彼は、2021 年 5 月、ワシントン州ペイン・フィールドから、単独、南回りで北米～大西洋横断～欧州～中東～東南アジア～沖縄～韓国～新千歳～ロシア～アラスカの 18 か国、総計 30 空港を經由し、総飛行時間 143 時間、実に延べ 43 日間におよぶ世界一周飛行を成し遂げました。

片目の見えないパイロットとして、前田さんは、如何に逆境に抗い、「夢を実現するための方程式」を解くことができたのでしょうか？

パイロットを目指す人も、そうでない人も、悩める人に感動と道筋を与えてくれる、素晴らしいメッセージが込められています。是非、ご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/7822>



[5] 【新発売】 JAPA SHOP よりご案内



【新発売】

- ・ JAPA-254 (第6版)
- ・ JAPA-256 (第7版)
- ・ AIM-JAPAN 2023年 前期版 (英語版)

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>



[6] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《航空安全講習会》

3月11日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

-----

《第10回 SRM セミナー》

2月28日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

-----

《(前後半) 第17回 TEM/CRM セミナー基礎コース》

3月2日~3日 東京開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

-----

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

2月25日 宮城開催

3月18日 新潟開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

-----

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPAが主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するためご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決めいたしました。

セミナー・講習会へのご参加にあたりましては、以下内容をご確認いただきますようお願いいたします。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2020/06/japa20200618.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★

[7] 【お知らせ】 協会事務局の勤務体制について

★

協会事務局では首都圏での新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、今後の勤務体制を以下の通りといたします。

期 間：2月15日（水）～（終了に関しては別途お知らせします。）

出勤日：月曜日-金曜日（祝日を除く）

時 間：10：00-17：00

★

[8] 【ご案内】 公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページより、ご覧ください。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member.japa.or.jp/member>

\* \* \* \* \*

★次回の配信は3月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

-----  
【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>  
-----